|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業展開例No.2 | 学年 | ２ | 教科 | 算数科 | 本時 | 2／11 | 実施月 | ５ |
| 単　元 | たし算とひき算のひっ算１（たし算） |
| 本時の目標 | 一の位に繰り上がりのあるたし算の筆算の計算の仕方がわかる。 |
| 使用ソフトウェア | ＜アンプラグド　プログラミング＞ |
| プログラミング的思考力との関連 | 筆算の仕組みや手順を論理的に考える。 |

時間

|  |  |
| --- | --- |
|  | 学　　習　　活　　動　　　　　　　　※教師の支援　◆思考ツールの活用　☆評　価 |
|   525　40 | ３４＋２８をひっ算でしてみましょう※数字を縦に並べて書き、位を意識させる。◆訂正をしたり、発表の際の掲示物としたりできるように、ミニホワイトボードを用いる。※ミニホワイトボードに書かれた内容を比較し、手順の正しさや見やすさ、単純さに気づけるように、各グループのホワイトボードを黒板に並べて貼る。◆計算の順序をフローチャートで確認する。※実際の筆算とフローチャートの流れとを比べることで、手順の正しさを確認する。　・一の位をたすと、１２だから・・・　・１０はどこに書けばよいのかな　・かぞえ棒で確認したいな　　　グループで正しい計算の方法をフローチャートを作って説明しよう　・今度はたしたら１０をこえてるよ　・どうしたらいいの？・たして１０をこえたら、くりあがるんだよ　・たして１０をこえていなかったら、そのまま　　たした答えをかけばいいんだね　・一の位からたしていくとよいね〇フローチャートを一つにまとめよう〇振り返りをしよう☆同じ位の数をたして１０をこえたら、一つ上の位に１くりあげる手順を説明することができたか　（発表・ミニホワイトボード）step |